

普通救命講習効果確認表(G2015対応)

受講者氏名() 実施年月日 年 月 日

区 分	項 目	摘要	
心肺蘇生法	安全の確認を行ったか		
	傷病者の反応を確認したか		
	周りの人に助けを求めたか「誰か来てください」		
	119番通報とAEDを依頼したか (又は誰もいない場合、自分で119番通報したか)		
	呼吸をみる	胸と腹部の動きを見て、 普段どおりの呼吸かどうかの判断をしたか(10秒以内)	
	胸骨圧迫	胸骨の下半分(胸の真ん中)を圧迫したか	
		毎分100～120回のテンポで圧迫したか (30回を15～18秒の間で)	
		約5cm(小児の場合は胸の厚さの約3分の1) 沈みこむように深く圧迫したか	
		圧迫と圧迫の間は、胸が元の高さに戻るまで解除したか	
	人工呼吸	気道を確保したか(頭部後屈顎先挙上法)	
1回約1秒かけて2回行ったか			
	心肺蘇生を30:2のサイクルで行っていたか		
AED到着から 解析まで	AED到着後、傷病者の近くに置き、電源を入れたか		
	小学生以上には成人用の電極パッド(成人用モード)を、未就学児には 小児用の電極パッド(小児用モード)を選択したか		
	電極パッドを貼る前に胸部を確認したか (胸部の濡れ、貼付薬、ペースメーカー)		
	電極パッドを適切な位置に貼ったか		
	解析時は誰も傷病者に触れないよう「皆さん、離れて！」と 声を出して確認したか		
「ショックが必要」 のメッセージ	「ショックを行います。皆さん、離れて」と声をかけ、 誰も傷病者に触れていないことを確認してショックボタンを押したか		
	ショックが終わったら、すぐに胸骨圧迫を再開したか		
「ショックは不要」 のメッセージ	直ちに胸骨圧迫を再開したか		
救急隊の交代	救急隊が到着するまで、心肺蘇生を続けたか		
	二人以上いる場合、1～2分を目安に胸骨圧迫の役割を交代したか		
胸骨圧迫比率	胸骨圧迫比率が60%以上になるように心肺蘇生を行ったか		

※ 評価については、摘要欄に○×にて記入する。